

令和7年度 川口市国民健康保険糖尿病性腎症重症化予防対策事業 実施報告（概要）

「糖尿病性腎症重症化予防プログラム 令和6年3月28日改定」の評価指標を参考に検証を行った。

【未受診者・治療中断者への受診勧奨】業者委託により実施

1. 対象者

	対象者	支援方針
未受診者	令和6年度の特定健康診査等の結果が次の①②に該当し、糖尿病のリスクが高いと判定された者のうち、健診等実施後に医療機関への受診歴がない者。 ①空腹時血糖 126mg/dl(随時血糖 200mg/dl)以上、またはHbA1c(NGSP値)6.5%以上 ②eGFR(60ml/分/1.73㎡)未満	保健指導判定値以上のため受診を勧奨。健診結果に応じて強めに勧奨する。
治療中断者	過去5年間(令和2年度から抽出日時点での最新)のレセプト情報から糖尿病の治療歴があるが、令和6年度の特定健康診査等が未受診かつ医療機関への最終受診から約6ヶ月間受診がない者。	重症化リスクが高いため、強めの受診勧奨。

2. 実績

<受診勧奨結果概要>

(人)

	対象者 (通知作成数)	通知発sender※1	架電勧奨実施者		受診者
			1回目	2回目	
未受診者	115	113	68	11	75(66.4%)
治療中断者	167	163	85	11	70(42.9%)

※1 対象者から発送前資格喪失者を除いた件数

<受診勧奨結果内訳>

(人)

			未受診者	治療中断者	合計
通知	通知作成数		115	167	282
	資格喪失等除外数		2	4	6
	通知発送数		113	163	276
	未達(通知戻り)		0	3	3
1回目勧奨※2	ハガキ	返信あり数	19	20	39
		回答「受診中」または「受診予定あり」	16	17	33
	架電	勧奨実施数	68	85	153
		回答「受診中」または「受診予定あり」	18	4	22
2回目勧奨	架電	勧奨実施数	11	11	22
		回答「受診中」または「受診予定あり」	1	1	2

※2 架電勧奨中や終了後にハガキの返送があった対象者についてはハガキ・架電の両方に計上

【糖尿病治療通院中のハイリスク者への保健指導】業者委託により実施

1. 対象者

	対象者	支援内容
保健指導 (新規)	糖尿病で治療中の者のうち、糖尿病性腎症の病期が2～4期にあたる者。	支援期間：4～6か月 支援回数：4回 指導員：保健師・管理栄養士等
保健指導 (継続)	平成28年～令和6年度に川口市の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく保健指導を修了した者のうち、本人同意を得た者。	支援期間：約6か月 支援回数：2回 指導員：保健師・管理栄養士等

<保健指導(新規)通知発送者内訳> (人)

	男性	女性	総計
40代	4(1.5%)	4(1.5%)	8(2.9%)
50代	23(8.4%)	4(1.5%)	27(9.8%)
60代	64(23.4%)	34(12.4%)	98(35.8%)
70代	85(31.0%)	56(20.4%)	141(51.5%)
総計	176(64.2%)	98(35.8%)	274(100.0%)

<保健指導(継続)申込者内訳> (人)

継続年数	40代		50代		60代		70代		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
2年	0	0	1	0	4	0	2	4	11(34.4%)
3年	1	1	0	0	0	2	2	2	8(25.0%)
4年	0	0	0	0	1	0	2	0	3(9.4%)
5年以上	0	0	0	0	6	1	1	2	10(31.2%)
総計	1	1	1	0	11	3	7	8	32(100.0%)

年齢は令和7年度末の年齢

2. 実績

<保健指導(新規)利用勧奨結果> (人)

通知発送者	架電等実施者	申込者
274	268	24

<保健指導(新規・継続)利用者概要> (人)

	通知発送者	申込者	参加者※1	途中脱落者	修了者
新規	274	24	20	8	12
継続	—	32	26	1	25

※1 初回支援の実施前に辞退・資格喪失した者を除いた件数

【事業効果】

1. 保健指導

① 身体状況の改善

新規対象者・継続対象者のどちらにおいても介入後に改善がみられ、埼玉県（集合契約）実施結果と比較しても川口市（独自実施）の改善率のほうが高かった。

	新規対象者						継続支援対象者					
	川口市(独自実施)			埼玉県(集合契約)			川口市(独自実施)			埼玉県(集合契約)		
	介入前	介入後	増減	介入前	介入後	増減	介入前	介入後	増減	介入前	介入後	増減
体重	65.9	65.2	-0.7	—	—	—	69.9	67.1	-2.8	—	—	—
BMI	24.7	24.4	-0.3	—	—	—	26.1	25.9	-0.2	—	—	—
H b A1 c	6.1	6.3	-0.2	6.9	6.8	-0.1	7.1	6.9	-0.2	6.9	6.8	-0.1
eGFR	62.0	64.2	+2.2	60.1	61.1	+1.0	59.6	58.9	-0.7	61.6	61.2	-0.4
収縮期血圧	134.3	122.6	-11.7	125.0	126.1	+1.1	130.4	129.0	-1.4	124.4	124.2	-0.2
拡張期血圧	82.0	75.2	-6.8	74.4	75.2	+0.8	76.3	72.2	-4.1	73.8	73.4	-0.4

② 生活習慣の改善

保健指導により生活習慣の維持はできており、新規対象者は、ほとんどの項目で改善が悪化を上回っており、特に「歩行数の平均」は改善者の割合が 50.0%と高かった。

項目		終了時の評価(新規)						総計	終了時の評価(継続)						総計
		改善		不変		悪化			改善		不変		悪化		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合	人数	割合	
食事状況	間食の頻度 (日/週)	4	33.3	6	50.0	2	16.7	12(100.0)	3	12.5	15	62.5	6	25.0	24(100.0)
	間食の回数 (1日あたり)	2	16.7	9	75.0	1	8.3	12(100.0)	4	16.7	15	62.5	5	20.8	24(100.0)
	水分摂取量 (ml/日)	2	16.7	9	75.0	1	8.3	12(100.0)	6	25.0	17	70.8	1	4.2	24(100.0)
	飲酒の頻度 (日/週)	3	25.0	9	75.0	0	0.0	12(100.0)	1	4.2	21	87.5	2	8.3	24(100.0)
	アルコール摂取量 (g/日)	1	8.3	10	83.3	1	8.3	12(100.0)	3	12.5	20	83.3	1	4.2	24(100.0)
活動状況	運動習慣 有無	2	16.7	9	75.0	1	8.3	12(100.0)	2	8.3	18	75.0	4	16.7	24(100.0)
	運動頻度 (日/週)	3	25.0	7	58.3	2	16.7	12(100.0)	3	12.5	19	79.2	2	8.3	24(100.0)
	運動時間 (分/日)	2	16.7	8	66.7	2	16.7	12(100.0)	1	4.2	20	83.3	3	12.5	24(100.0)
その他の習慣	歩数の平均 (歩/日)	6	50.0	4	33.3	2	16.7	12(100.0)	3	12.5	12	50.0	9	37.5	24(100.0)
	歯科検診 実施有無	1	8.3	9	75.0	0	0.0	12(100.0)	1	5.9	14	82.4	2	11.8	17(100.0)
	眼科検診 実施有無	1	8.3	9	75.0	0	0.0	12(100.0)	0	0.0	16	100.0	0	0.0	16(100.0)
	喫煙状況	0	0.0	12	100.0	0	0.0	12(100.0)	0	0.0	24	100.0	0	0.0	24(100.0)
	睡眠時間	0	0.0	12	100.0	0	0.0	12(100.0)	2	8.3	19	79.2	3	12.5	24(100.0)

2. 糖尿病性腎症による透析導入患者の状況（中長期評価）

新規透析患者の最大の原因疾患は糖尿病性腎症である。令和 6 年度の新規透析患者に占める糖尿病性腎症の割合は 31.5%で、令和 7 年度は 35.9%とやや増加しているが、中長期評価項目であるため、第 3 期データヘルス計画中間評価及び最終評価で改めて評価する。

	令和 6 年度	令和 7 年度
新規透析導入患者	114	117
糖尿病性腎症による者	36	42
割 合	31.5%	35.9%

※他自治体で人工透析をしていたかたが川口市に転入した場合も新規透析患者として計上される

3. まとめ

事業の目的は糖尿病性腎症の重症化を防ぎ、腎不全や透析への移行を予防することであり、長期的な評価が必要であるため、第 3 期データヘルス計画中間評価や最終評価で事業評価を行う。国の動向を注視し、他自治体の好事例なども参考に事業内容を見直し、より効果的な実施方法を検討していくことが課題である。